

はか せ  
カエルくん と アキツノイケ 研究所の ウサギ博士

お はなしのはじめに

国立環境研究所構内の森の中では、動物たちが仲良く暮らしています。森の中には秋津ノ池という小さな池があり、その池のほとりにはウサギ博士が勤務するアキツノイケ環境研究所があります。近所の小学生のカエルくんはウサギ博士と大の仲良しで、きょうもおしゃべりに来ているのでした。

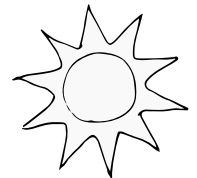


（マス番号 34） かつすい 湯水だけど水道水で車を洗った。 -200



カエルくん

この前は池があふれるほど大雨が降ったのに、このところずっと降らないね。



ウサギ博士

たまった洗濯物が乾いてうれしかったが ... 今度はひと雨来てほしくなるね。



カエルくん

池があふれないくらいにちょーどいい感じで雨が降<sup>ふ</sup>って、洗濯物<sup>せんたくもの</sup>がたまらないくらい、ちょーどいい感じに晴れの日が続<sup>つづ</sup>けばいいのになあ。



ウサギ博士

これから地球温暖化<sup>ちきゅうおんだんか</sup>が進んだら、この辺りではますます雨<sup>あめ</sup>の降り方<sup>ふりかた</sup>が極端<sup>きょくたん</sup>になると考えられているんだよ。どっちにしても水<sup>みづ</sup>には悩<sup>なや</sup>まされることになりそうだ。



カエルくん

そう言えばきのうお父さんが、買ったばかりの電気自動車<sup>でんきじどうしゃ</sup>がほこりだらけだからって水道水<sup>すいどうみづ</sup>で洗<sup>あら</sup>って、お母さんに叱<sup>しか</sup>られてたよ。



ウサギ博士

このところダム<sup>ダム</sup>の水<sup>みづ</sup>位<sup>い</sup>が下がっているから取水制限<sup>しゅすいせいげん</sup>が始まっているんだ。はじめに公園<sup>こうえん</sup>の噴水<sup>ふんすい</sup>を止めたり学校<sup>がっこう</sup>のプール<sup>プール</sup>に入れるのをやめたりして、みんなの飲み水<sup>のみみづ</sup>になる水道水<sup>すいどうみづ</sup>は最後<sup>さいご</sup>に使える量<sup>りょう</sup>を減<sup>へ</sup>らす様にしているんだよ。だから今は蛇口<sup>じゃぐち</sup>をひねれば水<sup>みづ</sup>が出るけど、大事な水<sup>みづ</sup>をどうしても必要<sup>ひつよう</sup>じゃない時にみんながたくさん使<sup>た</sup>ったらすぐに足りなくなっちゃうね。



カエルくん

にわ じゃぐち  
お庭<sup>にわ</sup>の蛇口<sup>じゃぐち</sup>から出てくる水<sup>みづ</sup>は水道水<sup>すいどうみづ</sup>なんだって。お父さんはこれから雨<sup>あめ</sup>が降<sup>ふ</sup>った時にバケツ<sup>ばけつ</sup>に雨水<sup>あめづ</sup>をためておいて車<sup>くるま</sup>を洗<sup>あら</sup>うって。

でも水道水<sup>すいどうみづ</sup>だって同じ水<sup>みづ</sup>なのに、どう違<sup>ちが</sup>うの？





ウサギ博士

水道水も、もとは雨水が川や湖やダムに集まったものなんだ。でもそのままでは細かい泥や小さな生き物がいるから、浄水場できれいに濾して消毒して安全においしく飲めるようにしているんだよ。



カエルくん

水道水はみんなのために一生懸命作ったものなんだね。ケロケロ！



ウサギ博士

あっ。カエルくん！もしかしてもうすぐ雨が降るの？！



お話の手引きへ